



アルファロメオ江戸川  
ALFA ROMEO EDOGAWA

Racing on

- 2nd Stage -

クルマは楽しい乗り物だから  
一般道もサーキットも安全に  
走っていただきたいと思いますね。



アルファロメオ江戸川  
サービスフロント

酒井 英朗

お客様とクルマを整備するメカニックへの橋渡しを担当するサービスフロントとして活躍。元来メカニックでもあったため、チューニングやメンテナンスなどへのアドバイスは的確。



ロール性の高さもサーキット走行には重要です。しかし一般道での使用を主に考えられている純正パット等では、激しいブレーキングを繰り返す役割を果たさなくなってしまうと、この温度域に耐えられず役割を果たさなくなってしまうと、効きだした途端ロックしてしまったりとコントロール性も余り高いとは言えません。よってサーキット走行にはやはりそれ向きのパットやローターが必要と言えます。

**制動力と機能性を  
バランス良く**

「止まる」と「止める」。  
ブレーキを考える。

前月号のこのページでは弊社のモットーをお伝えさせて頂きました。今月はフィアット・アルファロメオ江戸川の考える、サーキット走行と一般道での安全面の違いにおいて、ブレーキについて触れて行こうと思います。

**サーキット走行には  
専用のパット。**

まずサーキット走行と一般道での大きな違いは皆さんご想像されている通り走行スピードです。サーキットでは2000キロ近いスピードで走行をし、そこからフルブレーキで1000キロ以下、コースによつては500キロ以下までの減速を強いられます。その際発生するブレーキ熱は900度を超すことも稀ではありません。その為、耐熱温度の高い素材を使ったブレーキパットが必要とされ、さらにタイムを削るためには細かいブレーキコントロールが要求されます。そのため、コン



では、一般道ではたつと止まる。ここまでブレーキ熱が上昇する事はまずありません。しかし、突発的に急ブレーキを踏む可能性はサーキットよりも一般道の方が圧倒的に多くあります。その際、制動力が極端に弱いブレーキパットでは、一方がのアクシデントを避ける事が出来ないかも知れません。かといって、サーキット用のパットをストリートで使用すると温度が上がりすぎず止まらないということに繋がります。さらに制動力の強いパットや輸入車のブレーキパットは沢山のダストを出して制動力を得ると、ホイールが国産車に比べて真黒になりやすくなっています。その為、せかかかこのいいアルミホイールに変えたのに、ホイールが真黒になってしまふ事にも繋がります。

**制動力と機能性を  
バランス良く**

当店ではお客様ひとりひとりのコミュニケーションを特に大切にしております。

お客様が愛車のブレーキに感じていらっしゃる不安をお聞きし、最適なパットを純正パットをはじめ多数あるアフターメーカーのパットを、ベストなアドバイスを致します。もちろんブレーキパットだけでなく、ローターやバルブ等もお客様のご希望とご予算に応じてご提案致します。



「カッコイアルミホイールに変えたので汚したくない」、「スポーツ走行用の制動力が高いパットがいい」等々、お気遣いに私たちに相談ください。アルファ・ファイアリングのスペシャリストである私たちの確かなアドバイスをお任せ頂きます。

「ディーラーは整備料が高い」と思われがちですが、弊社ではお客様のご予算とお車の状態に応じたその時その時に合わせ最適なご提案をさせて頂きます。ブレーキ以外にもお車の疑問や不安、なんでもお問い合わせてください。スタッフ一同真剣にパッドアップさせて頂きます！



フィアット江戸川・アルファロメオ江戸川



東京都江戸川区一之江2-7-9 TEL 03-3656-8989

営業時間 10:00~19:00 定休日 毎週月曜 <http://www.alfa4u.jp/>